



幕別町応援大使 山本幸平選手が来庁

10月10日(火)に、MTB(マウンテンバイク)山本幸平選手が町役場を訪れ、飯田町長から応援大使の委嘱状が交付されました。

応援大使としての活動

マウンテンバイクをやっている、少しでも多くの人に競技をもっと知ってもらうため活動をしてきました。幕別町も普及に對して後押ししてくれています。それに対して僕は、世界中でレース活動を行っている中で、幕別町を国内はもちろん国外でも、少しずつPRしていければと思っています。僕がやれるのはそういうことなのかなと思います。

これからやってみたいことは何ですか

MTBの日本シリーズと国際レースを幕別町でやれたらうれしいと思っています。今後、明野ヶ丘公園にあるMTBコースが充実して、町の中心部にも自転車に乗



「未来のオリンピック選手を育てる事業」の一環として、10月9日(月)体育の日に合わせて、山本幸平選手と子どもたちの交流イベント『サイクリングin幕別』MTBオリンピック日本代表・山本幸平選手に挑戦』が行われ、山本選手と、町内の小学生23人がサイクリングを行いました。

札幌スポーツセンターから明野ヶ丘公園まで、上り坂の激しい約16キロメートルのコースを、途中2度の休憩を挟み2時間かけて明野ヶ丘公園に全員が到着しました。

休憩では、山本選手と一緒に「いもち」や「ドーナツ」、「スポーツドリンク」を食べたり飲んだり楽しそうに過ごし、最後には山本選手監修のコースで、MTB競技を体験しました。

山本選手は、「長い距離だったので、子どもたちにもっとバテるかと思ったけど、みんな元気に楽しんでくれてよかった。これをきっかけに自転車に興味を持って、将来の選抜肢の1つとして欲しいですし、これからも楽しくスポーツして欲しい。」と話していました。

れる場所が、少しずつ増えていったら、一番いいのかなと思います。

日本中でもMTBが乗れる場所が少ない状況で、幕別にはパークゴルフ場も数か所あり、野球場やサッカー場があります。その横にMTBの乗れる場所があれば子どもたちの遊びの一つが増えると思います。場所が無く知らないだけであればみんな目にはずると思いますし、MTBの普及を更に目指したいと思っています。

今シーズンを振り返って

今年は、僕自身厳しい年になりました。ワールドカップブラウンドでは、かなり自分自身も精神的にも結果的にも全然良くなかったです。戦に出場しましたが、成績も全て50番以下で苦しかったです。

リオオリンピックのあと考え直した目標がありました。が、うまく身体と心がかみ合わないままシーズンインしてしまい、そのままシーズンがどんどん進んでいてしまいました。日本選手権は勝てますが、



僕は世界を目指してやっていますので、それを考えるのが苦しかったです。

来シーズン以降に向けて

今は、シーズンが終わって、少し休憩しています。が、徐々にトレーニングを開始して身体を動かしていきたいです。11月に入ってから、本格的なプログラムで来シーズンに向けたトレーニングをやります。

2020東京オリンピックまで考えると3年ありますので、それを迎える時にはこの1年が良かったと言えよう今後は実施していきたいと思っています。



山本 幸平さん(32歳)

1985年8月20日 足寄町に生まれる
1998年3月 札幌北小学校卒業
2001年3月 札幌東中学校卒業
2004年3月 北海道帯広農業高等学校卒業
2007年3月 国際自然環境アウトドア専門学校卒業
2008年 北京オリンピック出場
2012年 ロンドンオリンピック出場
2016年 リオデジャネイロオリンピック出場
【所属】 BH-SRサンツアーKMC



▶幕別町応援大使の委嘱状を町長から直接交付しました。